

## 修成建設専門学校と連携し 共創で進めるプロジェクト



学校法人 修成建設専門学校

令和4年3月に西淀川区役所と専門学校を運営する学校法人修成学園と連携協定を締結。区役所が資材を購入し、設計・施工は学校が行うなど、役割分担を決めました。



4月以降、デザインコンセプトを練り上げ、2回のプレゼンテーションを経て、7月に内容を決定しました。設計書の作成、使用資材の検討、調達手続きを進め、関係先との協議もしながら、12月に着工しました。

詳しくはこちら▶



## 区民の宝「大野川緑陰道路」について

大野川緑陰道路は、西淀川区を東西に横断する約3.8kmの歩行者・自転車専用道路です。木々に囲まれた自然豊かなこの道路は、四季折々の景色が楽しめます。たくさんの人のウォーキングやジョギング、また健康づくりの場として親しまれ、大野川緑陰道路はまさしく「区民の宝」です。



# 地域と様々な人々の絆を結ぶ

## 緑陰道路内に憩いの空間が誕生

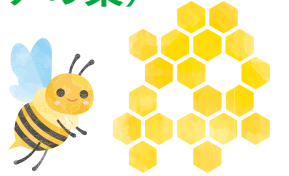
バリケード設置等の準備工事を行い、本格的には今年の1月から工事を始めています。具体的には、重機で地面を掘削し、鉄筋を並べて、コンクリートを流し込み、ブロックを積むなどの作業を進めています。



構造ができれば、座面を整備し、芝生を敷き、花を植えるなど、形になっていきます。完成後は、ベンチに座って休憩したり、芝生に寝転んだりするなど、くつろいでいただける空間を整備しています。

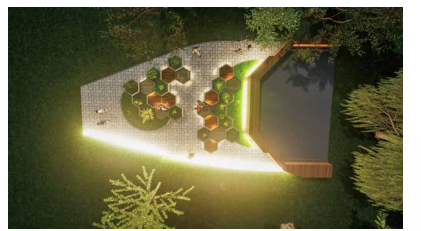
## コンセプトはハニカム（ハチの巣）

ミツバチが実を結ぶように、地域と様々な人々の絆を結びたいという想いから、地域の人と協力して作り上げる広場を目指します。



ベンチや花壇等はハチの巣を模した六角形になっています。

※イメージであり、実際の施工内容と異なることがあります。



夜のイメージパース（修成建設専門学校作成）

今回のプロジェクトに参加した

## 修成建設専門学校 ガーデンデザイン学科の方たちにお話を伺いました。



### プロジェクトのきっかけは？

**中安先生：**大野川緑陰道路に憩いの空間を作るにあたり、令和3年に西淀川区役所から当校にお声かけがありました。当初のデザイン・設計のみの依頼に対して、「うちで施工も含めてぜひ担当したい」と申し出たところ、区から快諾をいただき、令和4年3月に協定書締結となりました。

**田中さん：**そして、私たちガーデンデザイン学科の2年生17名が5チームに分かれて、4月からデザインを考えました。

**中安先生：**7月のプレゼンテーションを経て、計6案の中から田中さん、清水さん、桑原さんの3名による案が採用されました。

### 苦労した点は？

**桑原さん：**できるだけ「面白いもの」になるよう考えつつ、区民の方が実際に快適に使える設計を考える作業が、私たち学生にとって初めての経験で難しかったです。

**清水さん：**まず利用者のご意見を聞こうということになり、当時は健康遊具があるほかは殺風景な広場だった現地でアンケート調査をすることに。

**田中さん：**「花が少なく寂しい」「休憩場所が少ない」など、皆さん率直な思いを教えてくださいまして感謝です。

**桑原さん：**利用者のお声と私たちが現地で感じたこと、そして世界中の公園やベンチを調べながら、3人で意見を合わせていきました。

### コンセプトについて教えてください。

**清水さん：**テーマは「ハニカム（ハチの巣）」。広場内の大きな六角形のマンホールの活かし方を悩んでいたところ、あるとき「ハチの巣の形だ!」と閃いたのが構想のきっかけです。

**田中さん：**それで、花壇やベンチなどを六角形にしてみたら、マンホールの形とも馴染みそうって。

**桑原さん：**単なる椅子型のベンチだけじゃなく、常に遊び心を意識しました。

**清水さん：**区のキャラクター・に〜よんの友達の設定で私たちがつくったミツバチの「び〜な」のお家に、仲間みんなが遊びに来るイメージです。



左から／2年生 田中理央さん、教員 中安哲男さん  
2年生 清水智夏さん、2年生 桑原詩織さん

### 区民の皆さんへのメッセージをどうぞ。

**中安先生：**当校にお声かけくださったのも、プロにはない学生の柔軟なアイデアに期待されたからでしょう。そういった学生の遊び心や発想が見事に形になった憩いの場です。

**田中さん：**隣に子どもさん向けの公園があるので、ここは主に大人が利用するところになると思います。大人の方に楽しみながらくつろいでもらえるようなデザインにこだわりました。

**桑原さん：**ベンチの六角形に沿った照明や、樹木や花壇の中、床面の花柄のライトなど、安全面はもちろん、気持ちを和ませてくれるデザインを考えています。

**田中さん：**私たちのプランでは、健康遊具を増やして、ベンチなど休憩場所もたくさんつくりたいと考えています。ぜひ利用して心身ともにリフレッシュしてください。

**中安先生：**花壇もたくさんあるので、花づくりを中心としたコミュニティなど、地域の輪がさらに広がれば素敵ですね。

**清水さん：**はい、たくさんの方に訪れてほしいです。現地調査の際に「頑張ってね」と言ってくださった方々を含め、地域の皆さんに笑顔で利用いただければ嬉しいです。